

秘

第二軍戦闘報告 奥大将

軍、豫定、如ク廿五日ヲ以テ攻撃準備ヲ了リ同  
 廿九日、午後半ヨリ運動ヲ起シ、第四師団ヲ右翼  
 第一師団ヲ中央ニ、第三師団ヲ左翼ニ並  
 列シ、金州南山ニ向ツテ前進セシム。此夜(?)、迅  
 雷風雨、咫尺ヲ辨セス、運動頗ル困難ナリキ。同  
 時、一部隊ヲ以テ金州城ヲ攻略セシム。  
 廿六日午前四時三十分、分放火ヲ開始スベシ。管  
 ナリシニ、濃霧、為リ五時廿分、全砲兵ハ内山少将  
 ノ指揮ヲ以テ南山ニ向ツテ砲撃ヲ開始シ、同六  
 時、頃ヨリ我艦隊、四艘ハ金州灣ヨリ此ノ砲撃ヲ  
 援助セリ。敵ハ全備砲ヲ以テ之ニ應戦シ、爰ニ劇

0052

烈ナル砲戦ヲ交ヘ約三時間、後南山、敵火大ニ  
 減衰セリ是ニ於テ各師団、歩兵ハ前進ヲ  
 起シ一進一止ニ敵、砲火ヲ殆シ敵、第一線ヲ去  
 ル約三百乃至五百五十米突、地ニ達セリ  
 午前十一時敵、露天砲ハ我猛烈ナル砲火ニ依  
 悉ク沈黙セシモ速射野砲約二中队ハ疾ク退  
 却シテ南関嶺、高地、樓ヲ終局ニ至ル迄  
 時々我ヲ射撃セリ午前十時頃敵、砲艦一艘  
 和島砲台東方ニ来リ午後二時頃追我第三  
 師団ノ左側背ヲ砲撃シ且小蒸汽艇五隻ニ搭  
 載セル陸戦隊ヲ紅土涯附近ニ上陸セシメントセシ  
 我一部之ニ向ヒシヲ以テ遂ニ帰還セリ  
 又南山南方大房身ニアル敵、九珊米砲四門ハ午

後七時頃迄我第三師團ニ向ツテ砲撃ヲ繼續セ  
 我左翼ニ在ル砲兵之トモ應戰セシモ距離遠クシ  
 充分効力ヲ顯ハス能ハス  
 敵百領セル南山ノ陣地ハ嶮峻ナル高地線ニ半  
 永久築城ヲ施シ大小砲約七十門機關砲八門  
 備ハ連續圍繞セル數層ノ堡塁線ニ銃眼ヲ  
 穿ケクル掩蔽部ヲ作リ其前方ニ數多ノ地雷  
 及鉄條網ヲ設ケ且ツ此ノ間隙ヲ補フニ多敷  
 機關砲ヲ以テセリ之ニ對スル我砲兵ハ全力ヲ  
 舉ゲテ之ヲ破壊ニ努力シ又屢々陣地ヲ交換  
 シテ敵ニ近接シ以テ歩兵ノ前進ニ勢力ヲ與ハシ  
 敵歩兵ハ抵抗ハ頗ル頑強ナリシヲ以テ午後  
 五時ニ至ル此時我歩兵ハ爲ソ未ダ突撃ノ進路

關ク。至ラズ又我左翼ニ在ル第三師団ハ敵ノ  
 包圍ヲ受クルノミナラズ敵ハ漸次其歩兵ヲ師団ノ  
 左側前ニ増加シ且ツ南関山嶺ニ在ル敵砲ニ中隊ハ  
 此攻撃ヲ援助シ益々師団ノ左側ニ迫ラレトス而シテ  
 我軍行砲兵彈藥ハ將サニ盡キレトシ戰闘ヲ永ク  
 繼續スルコト能ハザルニ至レリ依リテ止ムヲ得テ少兵  
 ヲシテ損害ヲ顧ミズ強襲ヲ行ハレシ砲兵ハ補充ヲ得  
 ル彈藥ヲ盡シテ敵ヲ猛射セシメタリ我第一師団ノ  
 歩兵ハ意氣衝天ノ勇ヲ鼓シテ敵陣ニ向ヒ突撃セ  
 シ敵ノ猛烈ナル蹴射ト側射ト依リテ多數ノ死傷者  
 ヲ生ジテ前進ヲ繼續スルコトヲ得テ頗ル苦戦ニ陷リ  
 シカ恰モ良シ此時金州灣ニ在ル我艦隊ハ敵線ヲ  
 砲撃ニ向ツテ更ニ猛火ヲ開キ砲兵第四聯隊ニ協力



敵火ノ撲滅ヲ勉メ第四師団ハ此機ニ乘ジ全  
 カヲ舉ケテ敵ノ左翼ニ迫リ先ツ高地線ニ進ム爰  
 ニ於テ第一及第三師団ハ之ニ協力シ全線ヲ舉ゲテ  
 勇奮突入シ累々タル死屍ヲ越ヘテ敵壘ニ内薄シ劍  
 刃相接スルニ至ル迄劇戦シテ遂ニ南山ヲ攻畧シテ各  
 砲臺上ニ國旗ヲ執セリ時ニ午後七時過キナリ  
 敵ハ潰乱シテ旅順方向ニ退却セリ此退却ニ方リ敵  
 ハ大房身ノ火薬庫ヲ爆祭セリタリ  
 軍ハ一部ヲ以テ敵ヲ追撃セリタル後全隊戦場ニ露  
 營ス此時志氣大ニ奮ヒ萬歳ノ歡呼諸方面ニ  
 起リ砲兵ハ全カヲ竭クシテ敵ヲ追撃ス  
 我ニ對シ敵ノ兵力ハ野戦軍約一師団野戦砲二  
 中隊要塞砲兵海軍兵若干ナリ察スルニ敵ハ旅順

及大連湾ヲ掩護スル爲メ有シ得ル限リ南山ノ陣地  
 二橋ヲ我前進ノ防止セシコトヲ勉メタルモノヒレテ尚其防  
 禦工事ヲ増加スルノ計畫アリシカ如シ  
 敵死傷ハ不明ナルモ戰場ニ遺棄セシ死体ノヒラモ五百  
 名ニ下ラズ捕虜ハ將校以下若干名又戦利品ハ砲約六  
 十八門、機關砲十門、探電用蒸氣機一個、雷氣燈三  
 個、ガイナモ一一個、地雷銃、鐵罐約五十個、南滿州地圖數  
 十部、其他小銃及彈藥、諸材料等ナリ其詳細ハ目下  
 取調中  
 我軍死者將校以下約三千五百名  
 此日劇戦十四時間ニ亘リ頗ル苦戦セルニモ係ラズ戰機  
 一轉勝ヲ制スルノ得タルハ全ク  
 陛下御威稜ヲ然ラレムル可ニシテ又我將校ト士卒ノ

0057

志氣益々旺盛ナルハ感賞ノ至リト堪へ不足。又我  
 政撃ノ劇烈ナリシ結果、此ノ米島ニ在ル敵兵ニ一夫打  
 撃ヲ與ヘ旅順口ニ在ル敵、抵抗力ニ影響ヲ及ボレリ  
 本軍ノ武勇如何ヲ彼ニ示セシ、將來ノ作戰上裨益  
 鮮少ナラガレトシ只多大ノ死傷者ヲ出セシメタルハ頗ル遺  
 憾ニ堪ヘザル可ナリ終リ、海軍有力ナル援助  
 對シテハ深ク其厚意ヲ謝ス

秘

第二軍戦闘報告

真大将

軍 豫定、如ク廿五日ヲ以テ攻撃準備ヲ了リ同  
 日午後ヨリ運動ヲ起シ第四師団ヲ右翼  
 第一師団ヲ中央ニ第三師団ヲ左翼ニ放  
 列シ金州南山ニ向ツテ前進セシム此夜(?)に  
 雷雨兩怒尺ヲ辨セス運動頗ル困難ナリナ  
 時一部隊ヲ以テ金州城ヲ攻略セシム  
 廿六日午前四時三十分ニ分放火ヲ開始スベシ  
 ナリシモ濃霧ノ為、五時廿分ニ砲撃ヲ開始シ同六  
 時頃ヨリ救艦隊、四艘ニ金州灣ヨリ此砲撃ヲ  
 援助セリ敵ハ全備砲ヲ以テ之ニ應戦シ長劇

0059

烈たる砲戦が交へ約三時間、後南山、敵火大  
 減衰せり是は各師団、歩兵八前進  
 起し一進一止敵砲火は第一線去  
 約三百乃至五百五十米突地遠り  
 午前十一時敵露天砲の猛烈な砲火依  
 悉く沈黙せしむ速射野砲約二中队ハ疾く  
 退却し南関嶺高地に據り終局に至る迄  
 時々我々の射撃より午前十時頃敵砲艦一艘  
 和島砲台東方へ来り午後二時頃追我第一艦  
 師団左側背の砲撃し且小蒸汽艇五隻一搭  
 黄丸陸戦隊の紅土崖附近に上陸せしむ  
 我一部之向より以て遂に帰還せり  
 又南山南の方大房身を敵丸九班米砲四門ハ

0060

後七時頃迄我第三師団ニ向ツテ砲撃ヲ繼續セ  
 リ我左翼ニ在ル砲兵之レト應戰セシモ距離遠クシ  
 テ充分ノ効力ヲ顯ハス能ハス  
 敵、白領セル南山ノ陣地ハ嶮峻ナル高地線ニ半  
 永久築城ヲ施シ大小砲約七十門機關砲八門  
 ヲ備ヘ連續風銃セル數層ノ堡塁線ニ銃眼ヲ  
 穿ケケル掩蔽部ヲ作リ其前方ニ數多ノ地雷  
 及鉄條網ヲ設ケ且ツ此ノ間隙ヲ補フニ多數  
 ノ機關砲ヲ以テセリ之ニ對スル我砲兵ハ全力ヲ  
 擧ゲテ之レカ破壊ニ努力シ又屢々陣地ヲ交換  
 シテ敵ニ近接シ以テ歩兵ノ前進ニ勢力ヲ與ヘリ  
 シモ敵歩兵ノ抵抗ハ頗ル頑強ナリシヲ以テ午後  
 五時ニ至ル此時我歩兵ノ爲メ未ダ突撃ノ進路

至ラズ又我左翼ニ在ル第三師団ハ敵  
 包圍ヲ受クルノミナラズ敵ハ漸次共歩兵ヲ師団  
 左側前ニ増加シ且ツ南関嶺ニ在ル敵砲二中隊ハ  
 此攻撃ヲ援助シ益々師団左側ニ迫ラントス而シテ  
 我携行砲兵彈藥ハ將サニ盡キレハ戰闘ヲ永ク  
 繼續スルコト能ハサルニ至レテ依リテ止ムヲ得ス歩兵  
 ヲシテ損害ヲ顧ミズ強襲ヲ行ハシメ砲兵ハ補充ニ得  
 ル彈藥ヲ盡シテ敵ヲ猛射セシメタリ我第一師団ノ  
 歩兵ハ勇氣衝天ノ勇ヲ鼓シテ敵陣ニ向ヒ突撃セ  
 シモ敵ノ猛烈ナル瞰射ト側射ト依リテ多数ノ死傷者  
 ヲ生ジテ前進ヲ繼續スルコトヲ得ス頗ル苦戦ニ陥リ  
 シカ恰モ良シ此時金州灣ニ在ル我艦隊ハ敵線ノ  
 左翼ニ向ッテ更ニ猛火ヲ開キ砲兵第四聯隊ニ協力

敵火ノ撲滅ヲ勉メ第四師団ハ此機ニ乘ジ全  
 カヲ擧ケテ敵ノ左翼ニ迫リ先ツ高地線ニ進ム爰  
 ニ於テ第一及第三師団ハ之ニ協力シ全線ヲ擧ゲテ  
 勇奮突入シ果々タル死屍ヲ越ハテ敵壘ニ内薄シ創  
 死相接スル。至ル追劇戰シテ遂ニ南山ヲ攻畧シテ各  
 砲壘上ニ国旗ヲ翻セリ時。午後七時過キナリ  
 敵ハ潰乱ニシテ旅順方向ニ退却セリ此退却ニ方リ敵  
 ハ大房身ノ火薬庫ヲ爆祭セタリ  
 軍ハ一部ヲ以テ敵ヲ追撃セリタル後全隊戰場ニ露  
 營ス此時志氣大ニ奮ニ萬歳ノ歡呼諸方面ニ  
 起リ砲兵ハ全カヲ竭クシテ敵ヲ進撃ス  
 我ニ對シテ敵ノ兵力ハ野戰軍約一師団野戰砲二  
 中隊要塞砲兵海軍兵若干ナリ察スルニ敵ハ旅順

0063



及大連湾ヲ掩護スル爲メ得ル限リ南山ノ陣地  
 二據リ我前進ヲ防止セシムルモコレテ尚共防  
 禦工事ヲ増加スルノ計畫アリシリ如シ  
 敵死傷ハ不明ナルモ戰場ニ遺棄セシ死体ノヒトモ五百  
 名ニ下ラズ捕虜ハ將校以下若干名又戦利品ハ砲約六  
 十八門機関砲十門探電用蒸氣機一個電氣燈三  
 個ガイヤモ一一個地雷銃罐約五十個南滿洲地圖數  
 十部其他小銃及彈藥諸材料等ナリ其詳細ハ目下  
 取調中  
 我軍死者將校以下約三千五百名  
 此日劇戦十四時間ニ亘リ頗ル苦戦セルニモ係ラズ戰機  
 一轉勝ヲ制スルヲ得タルハ全ク  
 陛下御威稜ニ依ラレムル所ニシテ又我將校ト士卒ト

忠勇ヲ戰興ツテカアルク信ズ其後尚將校下出率  
 ノ志氣益々旺盛ナルハ感賞ノ至リト雖ハ不足ニ及レ我  
 攻撃ノ劇烈ナリシ結果ハ此ノ米島ニ在ル敵兵ニ一大打  
 撃ヲ興ヘ旅順口ニ在ル敵ノ抵抗力ニ影響ヲ及ボレ且  
 本軍ノ武勇如何ヲ彼ニ示セシハ將來ノ作戰上裨益  
 鮮少ナラザルベシ只多大ノ死傷者ヲ出セシメタルハ頗ル遺憾  
 憾ニ堪ヘザル可ナリ終リニ臨レテ海軍ハ有力ナル援艦  
 對シテハ深ク其厚意ヲ謝ス

0065

南山戰開ニ於テハ彼我兵力左ノ如シ

部隊	歩兵	騎兵	砲兵	工兵
第一師團	十二大隊 一〇六八〇人	五中隊 五五〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人
第二師團	九大隊 八〇一〇人	一中隊 一五〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人
第三師團	九大隊 八〇一〇人	一中隊 一五〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人
第四師團	九大隊 八〇一〇人	一中隊 一五〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人
第五師團	九大隊 八〇一〇人	一中隊 一五〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人
砲兵第一旅團	リ	五中隊 五五〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人
計	五十二大隊 二八四八〇人	六中隊 六〇〇人	六中隊 六〇〇人	三中隊 三〇〇人

備考 參謀長ノ報告ニハ百九十八門トテ右ノ外多分第三師團ノ砲兵二大隊ヲ此方面ニ召致シタルナラン

部隊	歩兵	騎兵	砲兵	工兵
歩兵第三聯隊	五大隊 (五千人)			
砲兵第四聯隊	二大隊 (二千人)			
砲兵第五聯隊	五大隊 (五千人)			
砲兵第十二聯隊	一大隊 (一千人)			
砲兵第十三聯隊	五大隊 (五千人)			
砲兵第十四聯隊	五大隊 (五千人)			
砲兵第十六聯隊	五大隊 (五千人)			
鐵道機關兵	五中隊 (二千八百人)			
計	十八大隊 九千二百八十人			

備考 右ノ砲兵中込射野砲十六門ノ外ハ總有トナレリ

鐵道機關兵  
野砲十六門  
六十八門  
二十聯隊  
十五聯隊  
十聯隊  
八聯隊  
九聯隊  
九聯隊



得利寺附近ニ於ケル戦闘ニ関スル遼東半島上陸軍司令官ノ報告  
左ノ如シ

一 報告 (六月十四日午後十時)

六月十五日午前大本營着電

軍ノ主力ハ本日(十四日)左右西縦隊トナリ鉄道線路ニ沿ヒ南部  
瓦房店ノ東ニアリシ敵ヲ駆逐シテ北進セシガ午後五時頃敵  
兵更ニ北部龍王廟ヨリ大房身ニ互ル線ニ陣地ヲ占メ彼我ノ  
間ニ砲戦約二時間ノ後我軍ハ龐家屯ヨリ虞河屯ニ互ル線  
ヲ占領スルニ方リ日ハ暮レタリ我軍ニ若干ノ損傷アリ  
本日軍ノ一部タル他ノ一縦隊ハ敵ノ右側ヲ脅威シ我カ側背  
ヲ掩護スル為メ復州東方ノ地區ヲ前進シテ鄧家溝ヨリ那  
家峯ニ互ル線ニ進出セリ  
軍ハ明十五日一部ヲシテ敵ノ右側ヲ脅威セシメ主力ヲ以テ前  
面ノ敵ヲ得利寺北方隘路内ニ壓迫セントス

0067

二 報告 (十四日夜十二時)

六月十五日前大本營着電

其後ノ報告ニ依レハ北部龍王廟ヨリ大房身ニ互リ陣地ヲ占領シアル敵兵ハ漸次ニ増加シ頑固ノ抵抗ヲ試セントスルモノ、如ク軍ハ明朝戦ヲ決セントス

三 報告 (十五日正午)

六月十五日後大本營着電

軍ハ豫定ノ如ク今拂曉ヨリ得利寺附近ノ敵ヲ攻撃シ目下戦闘酣ナリ

四 報告 (十五日午後十時半)

六月十六日午前大本營着電

得利寺附近ノ敵ノ兵力ハ約二師團ニシテ大房身ヨリ城子山ニ互リ陣地ヲ占領シ軍ハ今十五日拂曉之レガ攻撃ヲ開始シ其主力ハ鐵道線路ニ沿ヒ一隊ハ鄒家屯方面ヨリ攻撃前進シ午前九時頃軍ノ左翼ニアリシ一隊ハ東龍口方面ヨリ正午頃騎兵隊ハ賈家屯方面ヨリ共ニ此戦闘ニ参與シテ敵ヲ得利

寺附近に包圍シテ激烈ナル戦闘ノ後之ヲ北方ニ撃退シ軍  
旗及速射砲數門等ノ鹵獲アリ我死傷ハ昨日(十四日)ト本  
日トヲ合シ約一千人以内ヲ算スベク敵ノ死傷ハ頗ル多大ナルベキ  
モ未ダ詳ナラズ

五

報告 (六月十五日午後十時)

六月十六日午前大本營着電

本日(十五日)ノ戦闘に於テ露軍ハ我國旗ヲ濫用シ現ニ我將  
校在候ハ露國兵ノ我國旗ヲ樹テ行進スルヲ回撃シ又我砲  
兵ハ之ヲ認めテ射撃ヲ中止セリ

六

報告 (十六日午前十時)

六月十六日午後大本營着電

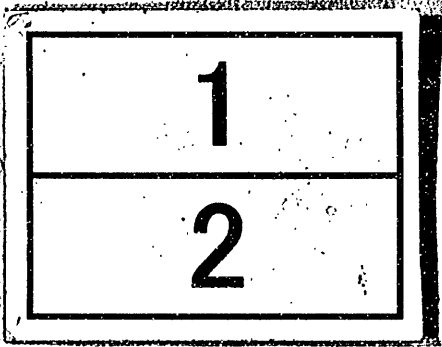
軍ハ昨日(十五日)拂曉ヨリ得刺寺附近に於テ約二師團半ノ敵ヲ包  
圍シ午後三時頃迄激烈ナル戦闘ヲ繼續シテ遂ニ之ヲ北方ニ  
潰走セシメ夕リ未ダ詳細ノ報告ニ接セザルモ速射砲十四門ヲ  
鹵獲シ且撃歩兵第四師團兵以下約三百ノ兵ヲ捕虜セリ

0069

場  
之  
残  
せ  
し  
死  
傷  
者  
の  
五  
百  
名  
に  
上  
ル  
バ  
シ

0070

# 分割撮影ターゲット

分割した  部分の  撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



0071

0072

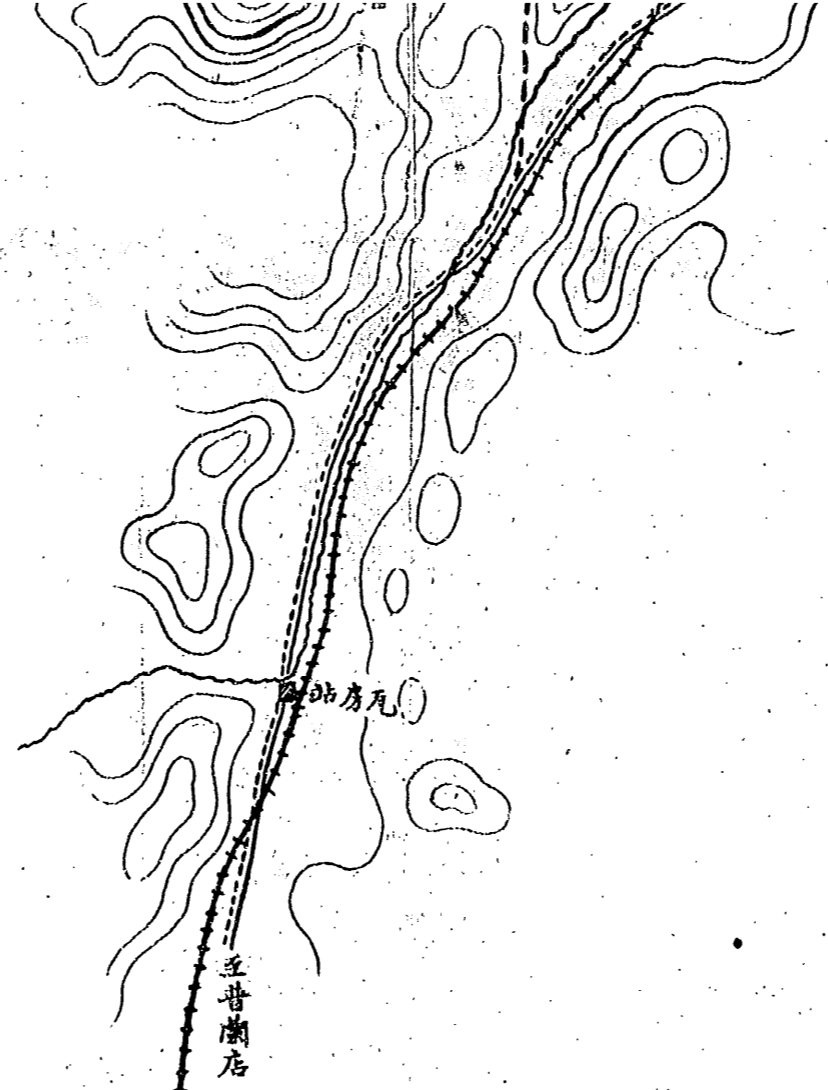
# 戰地附近之略圖



高子及至



1  
100000



● 店蘭普

倫敦發電

森

大本營着電

六月十四日瓦房站附近戦闘ニ於テ祖撃出兵第一聯隊  
長ハ戦死シ将官<sup>ヲ</sup>ケルシクルス<sup>ニ</sup>（第一師団長）ハ負傷シタル旨  
<sup>ヲ</sup>スタケルヘルク<sup>ニ</sup>（第一軍団長）ヨリ公報シタル旨、報告アリタリ

0073

秘

第二軍戰聞報告

奧大將

六月十三日軍ハ普蘭店大沙河ノ線ヲ出發シ第三師團(砲  
 兵旅團ノ二聯隊ヲ附ス)ヲ大沙河ニ沿ヒ第五師團ヲ  
 沿ヒ第四師團(砲兵旅團ノ一聯隊ヲ附ス)ヲ吳家屯(復州街道上)  
 四川溝大河崖ニ通スル道路ニ沿ヒ騎兵旅團(歩兵一大隊山砲  
 一中隊ヲ附ス)ヲ皮子窩熊岳街道ヲ前進セシメ各縱隊ハ其進  
 路上ノ少數ノ敵兵ヲ驅逐シツテ前進セリ

十四日第四師團ハ那家岑附近ニ達ス第三、第五師團ハ相連  
 繫シテ得利寺南方約十二吉羅ノ趙家屯大平溝ノ線ニ達シ敵  
 兵大房身ヨリ北部龍玉廟ニ互ニ線ヲ占領スルヲ知リ更ニ進シ  
 テ宋家屯龐家屯虞河屯ノ線ヲ占領シ午後三時頃ヨリ日没  
 ニ至ル迄砲戰ヲ繼續セリ

十五日軍ハ得利寺附近ノ敵ヲ攻撃セシカ為メ第三師團ヲシテ

0074

宋家屯ヨリ温家屯北方高地ニ亙ル線ヲ固守セシメ第五師團  
ヲシテ夜間ヲ利用シテ虞河屯附近ヨリ大陽溝西方高地ニ  
前進セシム此朝濃霧アリ午前五時三十分放火ヲ開始シ砲戦  
漸次劇烈トナリワ、アル間ニ第五師團ハ復州河以北ノ地区ハ漸次  
苦戦ニ陥リタリ此時第五師團ノ攻撃前進ハ着々進捗シ  
加フルニ本日黎明復州方面ヨリ急行セル歩兵第十九旅團、砲  
兵一大隊ハ午前九時三十分王家屯西方高地ニ達シ第五師團ト  
協力シ午前十一時大房身附近ノ敵兵ヲ駆逐スルヲ得タリ然レモ龍  
潭山山嘴及龍王廟高地ニ在リシ敵砲兵ハ猛烈ニ此方面ヲ射  
撃シ第五師團及歩兵第十九旅團ハ此猛火ヲ冒シ陰崖峻坂ヲ  
攀登シテ前進セルモ第三師團右翼隊方面ノ敵兵ハ依然優  
勢ヲ以テ我ニ當リ数々攻勢ニ轉セントセリ因テ軍ノ總豫備隊ハ  
歩兵二大隊ヲ前後二回此方面ニ増加シ軍ハ遂ニ一兵ノ豫備隊ヲ  
有セザルニ至リシモ今十五日朝普蘭店附近ヨリ急行セル第六

0075

師團ノ歩兵三中隊午後二時戰場ニ到着シ之ヲ豫備トナスヲ得  
タリ是ヨリ先キ第三師團右翼隊ノ方面危急ヲ告グルニ當リ  
騎兵旅團モ亦第三師團ノ右翼ニ到着シ之ニ連繫シ猛烈ニ敵  
ノ左側背ヲ脅威セシメ以テ敵ハ全ク我包圍中ニ陥リシモ頑強  
ニシテ屈セズ而カモ敵ノ後續隊戰場ニ到着シタルカ如ク數々逆  
襲ヲ以テ戰況ヲ挽回セントセシモ遂ニ我軍ノ攻撃力ニ抵抗スル能  
ハズ午後三時頃ヨリ退却ヲ始メ我追撃射撃ニヨリ潰乱セシモ  
軍ハ地形上及數日來ノ疲労ノ爲メ猛烈ナル追撃ヲ行フヲ止メ此  
夜戰場ニ夜ヲ撤セリ  
此日(十五日)第四師團ノ主力ハ高家屯附近ニ於テ北方ニ對シ陣  
地ヲ占領シ軍ノ左側ヲ掩護シアリシガ午前十時五十分敵ノ歩  
兵約七八百馬家房身ヨリ西龍口ヲ經テ吳家屯方向ニ退却ス  
ルヲ知り歩兵二中隊砲兵一中隊ヲ紅家屯東方高地上ニ差遣

0076

シテ之ヲ待ツ午後一時後ニ至リ敵兵豫想ノ如ク龍口後以西  
 ニ退却シ来リタルヲ以テ大ニ之ニ損害ヲ與ヘタリ  
 此日戦闘ニ参與セシ敵ノ兵力及配備ハ末尾ニ凡ル敵ノ書類ノ  
 如シ  
 敵ノ死傷未詳ナルモ戦場ニ遺棄セル死屍ハ第三師團方面  
 ノミニテ約六百ニシテ速射砲十四門及軍旗等ヲ鹵獲シ捕虜  
 ハ狙撃歩兵第四聯隊長以下將校六下士卒三百ナリ又捕虜  
 將校ノ言ニヨレバ第一軍團長輕傷第一師團長重傷第一聯隊  
 長戦死第二第三聯隊長負傷セリト  
 我軍ノ死傷目下取調中ナルモ今名以下ナリ  
 十五日ノ戦闘ハ兵力殆ント我ト對等ニシテ然カモ堅固ナル陣地ニ  
 據ルノ敵ヲ攻撃シ遂ニ之ヲ潰走ニ至ラシムルヲ得タルハ偏ニ  
 陛下ノ御稜威ニヨル

狙撃歩兵第四聯隊長ノ所持セル六月十三日ニ於ケル東部西伯  
利第一軍團命令ノ要旨

騎兵ハ十二中隊（沿海州龍騎兵第三西伯利哥薩克師團ノ一部  
狙撃歩兵第十三聯隊ノ乘馬歩兵一隊砲六門）ニシテ大房身  
及其西方ニアリテ監視シ

左翼地區ハ狙撃第一師團（十二大隊）騎兵四中隊砲三十六門  
ニシテ鐵道線ヨリ東方ヲ守備シ

中央地區ハ狙撃歩兵第三十三聯隊一中隊砲二十四門ニシテ鐵  
道線附近ヲ占領シ

右翼地區ハ狙撃歩兵第三十六第三十三聯隊ノ四大隊砲八門  
ニシテ中央地區ノ右翼ヨリ其西方山地ヲ占メ

右翼前進部隊ハ狙撃歩兵第三十六聯隊一大隊乘馬歩兵  
一隊砲八門ニシテ大房身北方山地ヲ占領シ

0078



總隊備ハ步兵第三十五師團ノ第二旅團（八大隊）砲十六門  
ニシテ得利寺附近ニ位置スヘシ  
右兵カノ計ハ步兵三十五大隊騎兵十七中隊砲九十八門ナルモ  
戦間更ニ後方ヨリ増加セシ部隊アリ

0079

死傷報告

第二軍司令部

今迄(十七日正午)ニ得タル得利寺附近戦闘ニ於テ死傷將校  
左ノ如シ

戦死者

歩兵第三十四聯隊	大尉	大林	宮吉
全	少尉	市原	芳雄
歩兵第九聯隊	少尉	北田	善松
歩兵第十一聯隊	中尉	村井	丹宮
歩兵第四十二聯隊	少尉	森安	宇吉
歩兵第四十二聯隊	中尉	葛原	保

0080

歩兵第四十二聯隊少尉 門司七郎  
砲兵第十三聯隊大尉 今川六三

計 八名  
負傷者

歩兵第三十四聯隊中尉 濱田信太郎

重傷 全 中尉 北島宗三郎  
全 少尉 小林武  
全 少尉 中野正次

全 少尉 後藤松太郎  
全 少尉 中山諭吉

全 少尉 河崎庸雄

重傷 全 少尉 高橋良吉  
砲兵第三聯隊大尉 市岡赳夫

0081

外校以下特務曹長四名負傷、  
 死傷約九百名ナラン

計 十四名

重傷

砲兵第十三聯隊

中尉 蓮岡清次郎

砲兵第十五聯隊

少尉 小畑巖三郎

砲兵第十五聯隊

大尉 丸山金太郎

砲兵第十五聯隊

少尉 北原秀造

砲兵第十五聯隊

少尉 二宮正純

0082

# 第二軍戰鬥報告

六月十三日午後六時至夜間

## 奥大将

0083

六月十三日軍ハ普蘭店大沙河線ヲ出發シ右縦隊ヲ大沙河ニ沿ヒ中央縦隊ヲ鐵道線ニ沿ヒ左縦隊ヲ吳家屯(復州街道上)四川溝大河崖ニ通スル道路ニ沿ヒ騎兵部隊ヲ皮子窩熊岳街道ヲ前進セシ各縦隊ハ其進路上ノ少數ノ敵兵ヲ驅逐シツテ前進セリ

十四日左縦隊ハ那家屯附近ニ達ス右及中央縦隊ハ相連繫シテ得利寺南方約十二吉羅趙家屯大平溝ノ線ニ達シ敵兵大房身ノ北郭龍王廟ニ亘ル線ヲ出領スルヲ知リ更ニ進シテ王家屯龐家屯虞家屯ノ線ヲ出領シ午後三時頃ヨリ日没ニ至ル迄砲戰ヲ繼續セリ

十五日軍ハ得利寺附近ノ敵ヲ攻撃セシカ爲メ右縦隊ヲシテ宗家屯ヨリ温家屯北方高地ニ亘ル線ヲ固守セシ中央縦隊ヲシテ夜間ヲ利用シテ虞河屯附近ヨリ大陽溝西方高地ニ前進セシム此朝濃霧アリ午前

五時三十分放火ヲ開始シ砲戰漸次劇烈トナリツル間ニ中央縱隊復州  
 河以北地屬新次首戰ニ陥リタルモ其攻撃前進ハ着々進歩シ加フルニ  
 本日黎明復州方面ヨリ急行セル出兵及砲兵ヨリ成ル一隊ハ午前九時三  
 十分王家山西方高地ニ達シ中央縱隊ト協力シ午前十時大房身附近  
 敵兵ヲ驅逐スルヲ得タリ然レテ龍潭山山嘴及鼓王廟高地ニアリシ敵砲  
 兵ハ猛烈ニ此方面ヲ射撃シ中央縱隊及復州方面ヨリ來リシ隊比猛火ヲ  
 冒シ險崖峻坂ヲ攀登シテ前進セルモ右縱隊ノ右翼隊方面敵兵ハ依然  
 優勢ヲ以テ我ニ當リ屢攻勢ヲ轉セリトセリ因テ軍總隊備隊タル出兵ヲ前  
 後二回此方面ニ増加ス見レヨ先中右縱隊ノ右翼隊方面危急ヲ告グルニ  
 當リ騎兵部隊モ亦右縱隊ノ右翼ニ到着シ之ニ連繫シ猛烈ニ敵ノ左側ヲ  
 ヲ叩威セシメタリ敵ハ余々我包圍中ニ陥リシモ頑強ニシテ屈ヒテ敵後續  
 隊戰場到着シタルカ如ク屢逆襲ヲ以テ戰況ヲ挽回セリトモ遂ニ我軍ノ攻  
 撃力ニ抵抗スル能ハス午後三時頃ヨリ退却ヲ始メ我追撃射撃ニヨリ潰乱

セシモ軍地形上猛烈ナル追撃ヲ行フヲ得ル此夜戰場ニ夜ヲ撤キ  
 此日左縦隊主力ハ高家屯附近ニ於テ北方ニ對シ陣地ヲ占領シ軍ノ  
 左側ヲ掩護シアリシガ午前十時五分敵歩兵約七八百馬家房身ヨリ西龍  
 口ヲ經テ吳家屯方向ニ退却スルヲ知リ出兵ニ中隊砲兵中隊ヲ紅家屯東方高  
 地上ニ差遣シ之ヲ待ツ午後一時後ニ至リ敵兵豫想ノ如ク龍口後以西ニ退  
 却シ來リタルヲ以テ大ニ之ニ損害ヲ與ヘタリ  
 此日戰鬥參與セシ敵兵カニシテ始メヨリ陣地ニ在リシモハ出兵ニ二十五大隊  
 騎兵十七中隊砲九十八門ナル戰鬥間更ニ後方ヨリ増加セシ部隊アリ  
 敵死傷未詳ナルモ戰場遺棄セル死屍ハ右縦隊方面ノミテ約六百ニ  
 シテ軍旗及速射砲十四門等ト因獲シ捕虜ハ第四聯隊長以下將校六  
 下士卒三百ナリ又捕虜將校言ニヨレバ第一軍團長輕傷第一師團長重  
 傷第一聯隊長戰死第二第三聯隊長負傷ナリ  
 我軍死傷目下取調中ナルモノ今名以下ナリ

十五日戰鬥、兵力約二師團半然々堅固に陣地を據り、敵を攻撃す。遂  
之ヲ潰走ニ至ラシムルヲ得タル偏ニ、陛下ノ御稜威ニヨル

死傷報告

第二軍司令部

今道(十七日正午)ニ得ル、利寺附近戰鬥ニ於テ死傷將校左ノ如シ

戦死者

- 大尉 大林 富吉
- 少尉 市原 芳雄
- 少尉 北田 善松
- 中尉 村井 丹宮
- 少尉 森 安守吉
- 中尉 葛原 保



計八名

眞傷者

少尉門司七郎  
大尉今村六三

重傷

中尉濱田信太郎  
中尉北島宗三郎  
少尉小林武  
少尉中野正次  
少尉後藤松太郎  
少尉中山諭吉  
少尉河崎庸雄  
少尉高橋良吉  
大尉市岡起夫

重傷

0087

外<sup>ニ</sup>持務曹長四名負傷  
計十四名  
將校以下死傷約九百名ナラン

重傷  
中尉 蓮岡清次郎  
少尉 小畑嚴三郎  
大尉 丸山金太  
少尉 北原秀造  
少尉 二宮正純

0088

作戰

源

中堅

六月二十日午前大本營着電奧大將報告

其後、報告ニヨレバ十七日夕迄ニ得利寺附近ニ於テ我軍ノ埋葬  
シタル敵ノ死体ハ總數一千五百十六名ニ上ルリ爾後續テ埋  
葬ニ従事シツ、アリテ其總數ハ尚著シク増加スルナルベク土  
人ノ言ニヨレバ敵ハ戦闘中死傷者ヲ汽車ニテ後送シ敗走稍  
前ニ至リテハ花紅溝附近ニ埋葬或ハ火葬セリト又鹵獲ノ  
銃砲及捕虜ノ數モ前報告ヨリ増加シアルモ調査未ダ終ラ  
ズ

0089

作



六月二十六日午後大本營着電

得利寺附近戰鬪、死傷者尤、如

戰死將校(特務隊長各二七)、下士卒二百十、計二二七、  
負傷將校(左 右)、四十三、下士卒九百、三、計九四六、  
合計二六三

馬匹

死 二十六  
傷 六十七

0090

巻

第三〇二號

唐教

參謀總長宛

報告 (一日午後一時)

七月一日午後七時五十分  
在 大崗寨 廿六時四十分  
少將

六月十二日・聞スル佛國新聞北尾房店附近・聞スル  
塙國新聞記事ハ事實埋造或ハ轉倒シ我正義軍ヲ  
中傷シ自巳ノ鑿行ヲ掩シナル身者手取ニ過キ六月  
十二日ハ我軍ハ戰鬪セ且ツ各方面ニ於テ騎兵作候モ  
衝突セシコトナレ六月十五日尾房店附近ノ戰鬪ニ於テ露  
軍ハ我死傷者ヲ虐待セシコトアルモ我軍ハ絶無ナリ敵  
ノ傷者ハ之ヲ收容セリ現ニ敵ノ傷者ニシテ我收容ヲ受ケ  
看護ノ厚キニ感泣スルモノアリ又死体ハ之ヲ收集シ檢審  
後埋葬シ決シテ虐待セシコトナレ露軍鑿行ノ一二ヲ記セ六

0091

月十五日步兵等十八聯隊ノ下士以下六(内ニ傳令ノ為メ  
 不在)名ノ停止年候ハ城子山ニ於テ敵ノ十五名計リト拮据  
 レ衆寡敵セズ遂ニ戦死スルヤ敵ハ銃劍ヲ以テ死者ノ自口  
 ヲ突キ貫キ肺部ヲ切解シ猶ホ懐中物ト認識票等ヲ奪  
 出リタリ其認識票ハ戦後捕虜ノ傍ニ之ヲ認メ再ヒ我手ニ  
 入レリ右等鑿行ハ露軍ノ常事ニシテ教告ノ價値ナシト信セ  
 シ故ハ今日迄教告セザリシナリ尚ホ六月二十七日騎兵等三聯  
 隊一等卒小林和ハ鱒岳城ノ東北約四吉羅ノ下東山  
 北方高地ニテ監視中敵ノ襲撃ヲ受ケ正白旗ニ向ヒ退却  
 中左胸部ニ貫通銃劍ヲ受ケ即死落馬スルヤ敵騎約二  
 十ハ彼ノ周圍ニ集マリニ面彼ノ陰部ヲ刺シ又其臀部ヲ突  
 ク等餘念ナク鑿行ヲ恣ニスルニ乘シ我騎兵ハ隊襲撃等セシ  
 ヲ以テ敵ハ急退却シ悲惨ナル死体ハ再ヒ我手中ニ入リタリ

事少レシ旧聞。屬スルモ五月十五日騎兵第三聯隊上等兵  
 後藤清治ハ將校在候ノ夫兵トナリ楊家園ニ向ヒ前進中  
 敵騎ニ襲撃セラルレ右ケツシウ部。貫通銃劍ヲ使ケ不幸  
 落馬スルヲ彼ハ自ラ佩カシ枝ト咽喉部ヲ貫キレ後ケ墮ル敵  
 ハ彼。追ツキ其日本刀ヲ奪。以テ死ニ瀕セル彼ヲ鼻より懐底  
 至ル迄切リ下ケ遂ニ虐殺セリ右等ノ事タカアルモ之ヲ略ス  
 爾後ハ細大トナク直ニ報告セン尙ホ他ニ露軍ノ自卓方手既ヲ行  
 ヒシコトアリ六月十五日ノ戦閉ニ於テ大房身西北ニアリシ敵ノ集  
 團騎兵ハ我軍壓迫ヲ凌ケ遁路ヲ失フヤ日章旗ヲ揚ケ我軍  
 擬レ我歩兵火ヲ緩フシ退却セリ又花紅溝附近ヨリ退却  
 セシ敵ノ騎兵ハ白旗ヲ揚ケ我襲撃ヲ中止ヲ待ケ谷中ニ入りシ  
 後ケ速カニ北方ニ遁走シ各譽言ヲ重ニスル軍人ニシテ尙ホ敢テ  
 戰場ニ斯ノ如キ卑劣ヲ行フ取ルル露人ナラシ以テ虚構ヲ捏

造他ヲ陪レ自ヲ非ヲ飾ルカ如クハ彼ノ常事ナルヘシ

0094



作戰

高

六月十二日ノ戦闘ニ関スル佛國新聞ノ記事及六月二十七日墺國維也納ノ諸夕刊新聞ニ掲ケタル露國派遣負ノ遼陽發電ニ尾房店附近ノ戦闘ニ於テ日本兵カ露國負傷兵ヲ待遇スルニ殘忍ヲ極メタル事實ヲ公ニシテ曰ク

日本兵カ露國負傷兵ヲ待遇スルト殘忍ヲ極メ甚クシキハ銃劍ヲ以テ其死者ヲ刺シタルノ事實ハソノ目撃セル所ニシテ露國軍ノ尾房店停車場ヨリ退却セルニ際シ公ハ其目撃セル事實ニ関シテ日本軍司令官及將校ノ注意ヲ促シ又將來斯ノ如キ行為ヲ再演セサル様切望スル旨聲明ニ大書シ置ケリ云々

依テ該方面ニ於ケル實況ヲ調査セシメタルニ左ノ如キ答電アリ  
七月二日午後大本營着電 第二軍  
六月十二日ニ関スル佛國新聞及北尾房店附近ニ関スル墺國新

0095

聞部軍、事實捏造或ハ轉倒シ我正義ノ軍ヲ中傷シ自己  
ノ蠻行ヲ掩シトスル卑劣手段ニ過キス六月十二日ニ我軍ハ戰鬪  
セス且ツ各方面ニ於テ騎兵斥候ダモ衝突セシトシ六月十五日尾房  
店附近ノ戰鬪ニ於テ露路軍ハ我死傷者ヲ虐待セシトアルモ我軍  
ニハ絶無ナリ敵ノ傷者ハ之ヲ收容セリ現ニ敵ノ傷者ニシテ我收容  
度々者ヲ護ノ辱キニ感泣スルモノアリ又死体ハ之ヲ收集シ檢審後  
埋葬シ決シテ虐待セシトナシ露路軍蠻行ノ一二ヲ記セ六月十五日  
歩兵第〇〇隊ノ下士以下六(内ニ傳令ノ為ノ不在)名ノ停止斥候  
城子山ニ於テ敵ノ十五名計リト格闘シ衆寡敵セス遂ニ戦死セリ  
敵ハ銃劍ヲ以テ死者ノ目ヲ突キ貫キ肺部ヲ切解シ猶ホ懷中  
物ト認識票等ヲ奪ヒ去リタリ其認識票ハ戦後捕虜ノ傍ニ  
之ヲ認メ再ヒ我手ニ入レリ右等蠻行ハ露路軍ノ常事ニシテ數  
告ノ價值ナシト信セシ故ヘ今日迄報告セサリシナリ尚ホ六月二十七日

0096

騎兵第〇聯隊一等卒小林某、熊岳城ノ東北約四吉四維ノ下  
叢峪北方高地ニテ監視中敵ノ襲撃ヲ受テ正白旗ニ向ヒ退  
却中左胸部ニ貫通銃創ヲ受テ即死落馬スルヤ敵騎約二  
十、彼ノ周圍ニ集マリ、三四彼ノ陰部ヲ刺シ又其臀部ヲ突ク等余  
念ナク變行シ恣ニスルニ乘シ我騎兵小隊襲撃ヲシテ以テ敵ハ  
急劇退却シ悲惨ナル死体ハ再ニ我手中ニ入リタリ事少シク旧聞  
ニ屬スルモ五月十五日騎兵第〇聯隊上等女後藤某、將校  
任候ノ尖兵トシテ揚家園ニ向ヒ前進中敵騎ニ襲撃ヲ受テ右肩  
胛部ニ貫通銃創ヲ受テ不幸落馬スルヤ彼ハ自ラ佩刀ヲ抜キ  
咽喉部ヲ貫キシ後テ殪ル敵ハ彼ニ迫リ其日本刀ヲ奪ヒ以テ死  
瀕セル彼ヲ鼻ヨリ腦底ニ至ル迄切リ下ケ遂ニ虐殺セリ右等ノ  
事多々アルモ之ヲ略ス爾後ハ細大トシテ直ニ報告セシ尙ホ他ニ諸  
軍ノ卑劣手段ヲ行ヒシコトアリ六月十五日ノ戦聞ニ於テ大房才

西北ニテリシ敵ノ集團騎兵ハ我軍壓迫ヲ受ケ遁路ヲ失フヤ  
日章旗ヲ揚テ我軍ニ擬シ我歩兵火ヲ緩フシ退却セリ又花  
紅溝増進ヨリ退却セシ敵ノ騎兵ハ白旗ヲ揚テ我龍衣隊ノ  
中止ヲ待テ谷中ニ入りシ後ク速カニ北方ニ遁走セリ各營ヲ重  
スル軍人ニシテ尚ホ敵ヲ戰場ニ斯ノ如キ卑劣ヲ取ルノ露  
人ナルヲ以テ虚構ヲ捏造化ヲ陥レ自ラ非ヲ飾ルガ如キハ彼常  
事ナルヘシ

0098

七月七日午後大本營着電

第二軍

我斥候ノ戦鬨後收集ニ能ハカリシ歩兵第二十三聯隊  
第十一中隊ノ兵卒一名ノ屍体ハ七月三日沙崗名南方  
偏坡子附近ニテ発見收容セラレタリ談屍体ハ左眼球ヲ  
扶取ラレ且顔面ヲ剝カレアリタリ

0099

第一軍、昨九日蓋平附近ノ敵ヲ擊退シテ正午頃今ノ  
同地ヲ占領セリ其經過左ノ如シ

七月六日午後大本營着電 奧 大將

本日午前九時前後ニ於テ軍ノ一部ハ四方台東北方約一  
里ノ山嶺及四方台北方約一里ノ山嶺ヲ守備セシ敵ノ歩兵  
約千六百名ヲ驅逐シテ該山嶺ノ線ニ止マレリ該地ニ在  
リ敵ハ北方ニ敗走セリ軍ノ主力ハ其進路上ニ在リシ敵  
騎ヲ驅逐シテ前進シ全家向ヨリ小藍旗ヲ經テ二道  
河ノ線ニ達シ左翼ノ一部ハ崔家屯ノ高地ヲ占領セリ  
我損傷ハ岩崎少佐(初太郎)重傷下士以下即死ニ  
負傷十ニシテ敵ハ死體約二十ヲ遺棄シテ  
軍ノ右翼方面ニ敗レシ敵ハ蓋平附近ニ退却セリ

七月七日午後大本營着電

軍ハ本日砂崗台附近ニアリシ敵ヲ驅逐シテ正午頃塔

子溝ヨリ大望海寨東方ノ高地ニ直ル線ニ達セリ

敵ノ歩騎砲若干我軍ノ進路上ニアル隘路ニ於テ

逐次ニ抵抗ヲ試ミツ、北方ニ退却セリ

土人ノ言ニ依リハ蓋平附近ニ約二万、海山寨ニ約二千、全地

附近ニ約一万ノ敵アリテ蓋平北方高地及西台附近ノ高地ニ砲

兵ヲ備ヘ又大石橋附近ニ依然敵兵駐屯シ漸次増加ノ様アリ

七月五日以來ノ死傷者左ノ如シ

歩兵少佐岩崎初太郎(前掲)重傷、少尉木村田貞助

輕傷

下士以下戰死四、重傷十一、輕傷七、合計二十四人

七月八日午後大本營着電

高海山寨附近ヨリ蓋平附近ニ耳聞及西台北方高地附近  
ヲ占領シ午後一時頃ヨリ鐵道列車ヲ以テ海山寨附近ニ軍隊  
ヲ下車セシメソツ、アリ湯地南方約二里ノ花紅溝附近ニ敵  
兵アルモノ如シ

軍ハ豫定ノ計畫ニ依リ此敵ヲ攻撃手セシトス

七月九日午前大木管着電

軍ハ本日午前五時二十分ヨリ蓋平附近ニ在ル敵ニ向テ砲撃  
ヲ開始シ午前八時頃大平七高地、蔡家七高地、東双頂  
山ニ在リシ敵ヲ驅逐シテ該地ヲ占領セリ敵ハ石門及海山寨  
附近ニ放列ヲ布キ尚ホ頑強ナル抵抗ヲ續ケツ、アリ

全 日午後着電

蓋平附近ノ敵ハ昨夜未著シク其兵力ヲ減シ蓋平附近ノ陣  
地ヲ我軍ノ為ニ奪取セラレタル後チ石門、海山寨、高



附近ノ嶺要ニ據リテ再度ノ抵抗ヲナシタルモ正午頃我軍ハ  
更ニ此敵ヲ攻撃シテ左高地ノ線ヲ占領セリ敵ノ砲兵其後  
紅旗廠、腰嶺子、石佛寺ノ高地ニ在リテ我軍追撃隊ヲ砲  
撃セシガ午後三時ニ至リ砲聲殆ント沈黙セリ  
此戰閉ニ於テ小泉少將ハ大腿ニ銃創ヲ受ケタリ他ハ取調  
中

0103

大孤山上陸軍方面ニ於ケル戦况尤ノ如シ

七月十日午前大本營着電

大孤山上陸軍ハ本日一縦隊ヲ以テ仙家峪、接官所方面ヨリ湯池方向ニ又一支隊ヲ以テ分水峯ヲ左テ柞木城ニ向ヒ前進セシメタリ

接官所附近ニ在リシ敵ハ我前進ヲ見テ谷地ヲ西南ニ向ヒ退却セルモ午後五時頃敵ノ砲兵周家庄西方高地ニ現出シ射撃ヲ開始セリ其後ノ状況ニ就テ未タ報告ヲ得ス

柞木城ニ向ヒ一縦隊ハ途中敵ヲ撃撲シテ西洋拉峪附近ニテ敵ノ前進陣地ヲ襲撃セシメ敵ハ非常ニ狼狽セシカ如キモ後ニ至リ歩兵約十大隊、砲兵中隊現出セシテ以テ該縦隊ハ偵察ノ目的ヲ達シ交戦ノ必要ナキヲ以テ戦闘ヲ避ケ某地ニ引場ケタルモ敵ハ急進セサリシ柞木城以南ニ在ル敵ハ約一師團ニシテ其騎兵ノ大部ハ牛心山方面ニ位置セルモノ、如シ

七月十一日午前大本營着電

昨日ノ報告ニ繼續ニ戰況尤ノ如シ

接官所及仙家峪ニ通スルニ道路ヲ取リテ前進セシ一縱隊ノ一部ハ

九日午前九時ヨリ十時ノ間ニ仙家峪及芥菜峪南方高地ニ達セリ

然ルニ敵ハ仙家峪西方高地ヲ占領シテ頑固ニ抵抗シ夜ニ差テ退却セザ

リシ

接官所方面ニ進ミシニ縱隊ノ主力ハ周家庄西方高地ヲ占領セル步兵

約二大隊、砲兵約一中隊ノ敵ト九日夕刻迄對戦セシモ遂ニ之ヲ撃退シ接

官所附近ニ戰鬪隊形ノ俟露營セリ

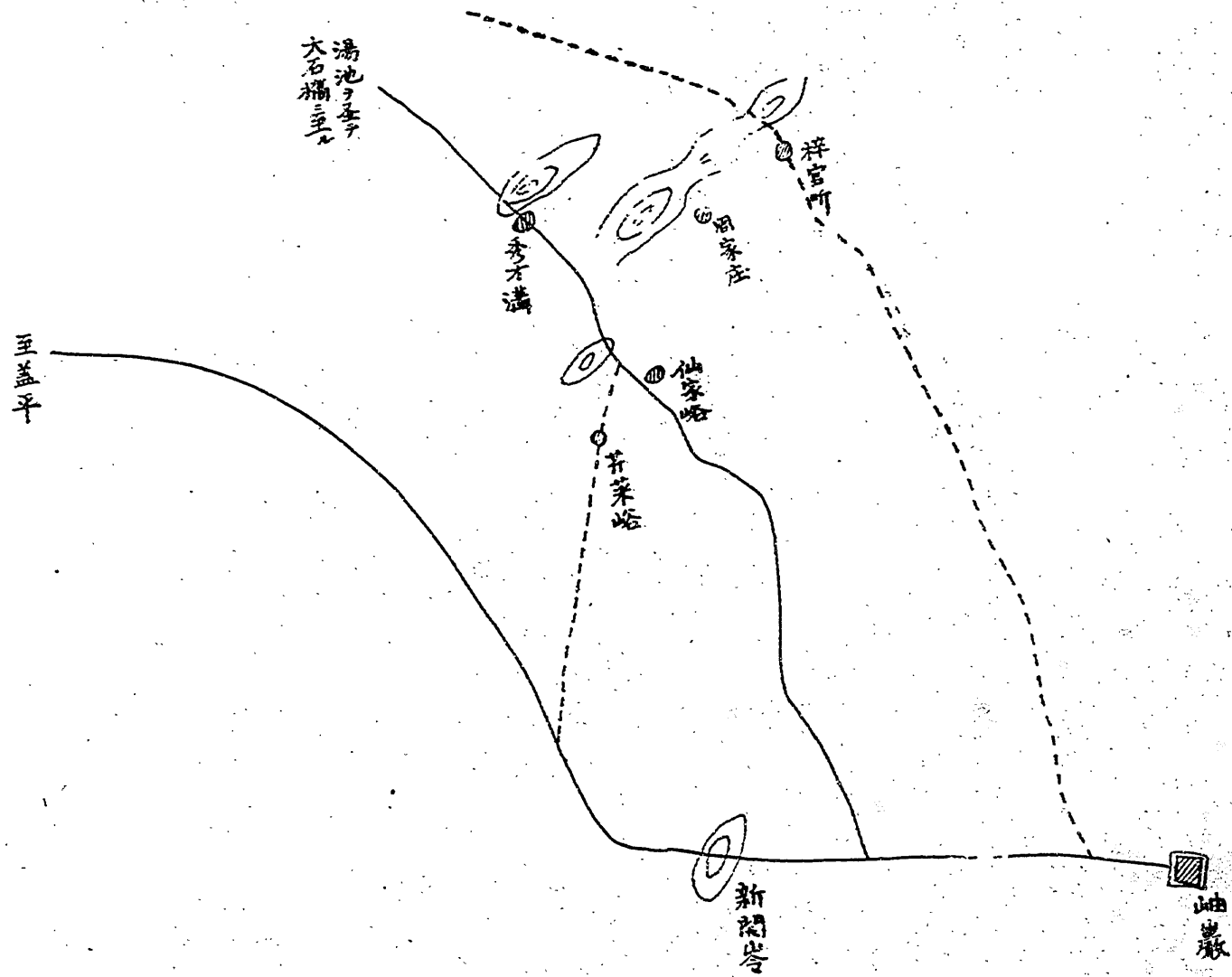
翌十日拂曉ヨリ前託ノ諸隊ハ悞同シテ仙家峪西方高地ノ敵ヲ撃攘

シ之ヲ追撃シテ復ニ秀才溝ノ高地ヲ堅固ニ占領セル敵ヲ諸方面ヨリ

攻撃シテ該地ヲ占領セリ

此戰鬪ニ於テ騎兵中尉竹内治孝戰死ス其他取調中

0105

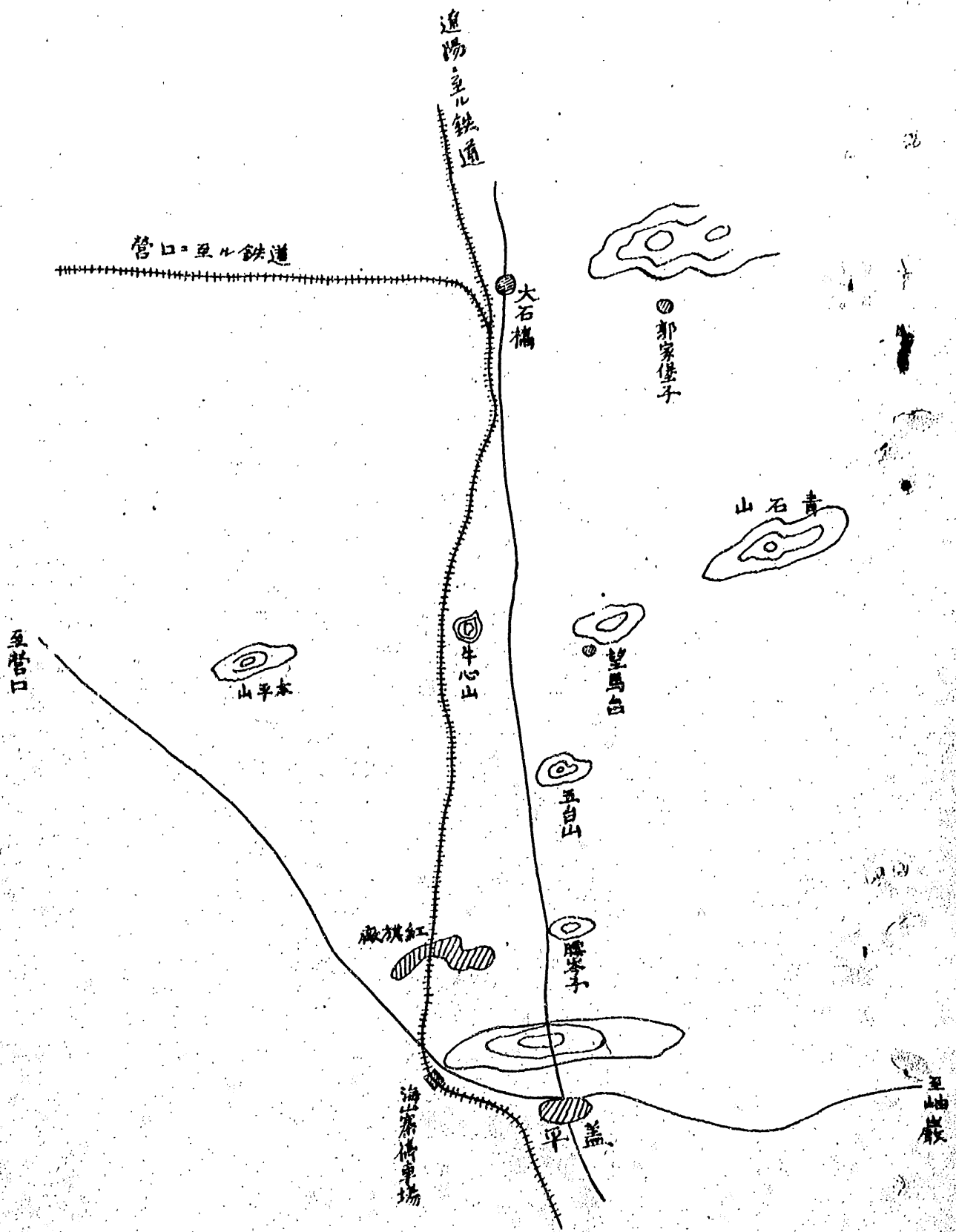


9106

七月九日蓋平台嶺ニ関シ其後第ニ軍ヨリ  
到達セシ報告ノ要旨

紅旗廠、腰嶺子ニ在リシ敵ノ歩騎砲兵ハ其後十日太  
庄附近ニ集合シ次テ大石橋ニ退却シ其一部ハ五  
台山ニ上マリタルモノ、如シ談敵ハ狙撃歩兵第一第  
九師団ニ属スル部隊及騎兵約二十中隊、砲兵約六中  
隊ニシテ太平山、牛心山、望馬台、青石山ニ亘リテハ堅  
固ナル敵ノ防禦工事アリト又大石橋東方郭家堡子  
附近ニハ敵多ク敵ノ幕營ヲ見ル  
八日夜ヨリ九日ノ戦闘ニ於テ生ニタル我死傷ヲ合計ス  
ハ約百五十名ヲ算スベシ  
敵ノ損傷モ亦少ナカラサルカ如キモ未タ詳報ニ接セス

0107



0108

作  
手

明治三十七年七月一日 第二軍報告

露兵ノ暴状

一、六月十五日得利寺附近ニ於ケル戦闘ノ終リニ於テ大房身  
西方劉家炉附近ニテリシ敵ノ集團騎兵ハ我中央部隊ノ為  
ニ壓迫セシテ得利寺方向ニ退却スル時日本ノ國旗ヲ掲ケ日本  
軍ニ擬シテ退却セリ

一、又尾房窩鋪附近ヨリ退却セシ敵ノ騎兵部隊ハ銃剣ニ白旗ヲ  
掲ケタルヲ以テ我軍ハ射撃ヲ中止シ投降者ノ取扱ヲ為サントセシ  
ニ上岩子溝附近ノ谷地ニ入り直ニ北方ニ遁走セリ

一、土人ノ言ニ依レハ露軍ハ得利寺附近ヨリ敗退ノ際糧食久乏シ沿  
道ノ牛馬ヲ強奪シテ之ヲ食シ又下士以下ニシテ婦女ヲ耻シメタル  
モノ甚多シト

一、騎兵第〇聯隊陸軍騎兵上等兵後藤某ハ五月十五日將校作

候ニ撰拔セラレ尾房店方向ノ敵情ヲ搜索ノ為ノ宿營地出  
奔尖兵トシテ楊家屯ニ向テ前進中俄然敵ノ騎兵ニ襲撃  
セラレ退却シテ蕭家屯西南側露兵ノ哨舎附近ニ達セシキ  
愈敵騎ニ肉薄セラレ右肩髀部ニ貫通銃創ヲ蒙リ不幸  
ニシテニ落馬セリ茲ニ於テカ彼ハ已レノ佩刀ヲ以テ頸部ヲ刺レ仰キ  
倒レタリ其時敵ハ彼ノ日本刀ヲ奪ヒ既ニ死ニ瀕セル彼カ顔面  
ヲ白昇ヨリ脳底ニ達スルマテニ切りタリ之カ為メ彼ハ遂ニ後送途  
中絶息セリ

0110



一得刹寺附近戰鬪ニ於テ城子山頂ニテリシ歩兵ノ停止午後  
 (下士一兵卒六)ハ其兵卒二名傳令ノ為メ不在中十五日午前  
 土時頃敵ノ歩兵十数名高地斜面ノ死角ヲ利用シテ近接シ  
 未ニ會シ其位置ニアリシ四名ハ我ニ面倍セル敵ト格闘シ力及  
 公遂ニ戦死セリ然ルニ敵ハ死者ノ眼及口中ヲ銃剣ヲ以テ突キ  
 刺レ尚飽キ足ラテ背部ヲ扶リ割サ(死者ノ懷中物及認  
 識票ヲ掠奪シ去レリ此認識票ハ後ニ至リ數多ク俘虜  
 ヲ捕獲シタル中我ノ銃ト共ニ取リ返スヲ得タリ

一六月二十七日午前七時早分騎兵一隊卒小林某ハ下東峪  
 北側高地於テ監視中敵騎ノ襲撃ヲ受テ正白旗ニ向ヒ退  
 却セシトシ敵騎二十餘名ニ包圍セラレ左胸部ニ貫通銃創  
 ヲ受テ即死落馬セリ敵ハ此死者ニ向テ二回陰部ヲ刺シ  
 又其臀部ヲ突キタリ敵ハ此暴状ヲ極ムル利那我騎兵ハ

隊襲撃せしり以て散乱して敗走せり

一五月二十六日南山ノ後ニ於テ我第一野戦病院ノ除家化ニ関  
設ニ傷者収容中午前十時頃敵ノ砲艦大連湾ニ進入し病  
院所在地ヲ砲撃ス蓋シ赤十字旗ノ敵ニ見得サル為ナラ  
ント更ニ是レノ敵ノ認知し易キ地ニ標示セシメレニ却テ益  
之ニ向テ砲撃數十發砲彈ハ手術室前及傷者ノ屯在病  
室ノ一部發着部等ニ落下し彈丸中立旗ヲ掠メ去ル事  
數回ニ至ル依テ辛クシテ魏家化ニ向ヒ傷者ト共ニ背進  
スルノ止ムヲ得サラシメタリ

0112

一六月一日騎兵某聯隊ハ四平街(得利寺東方約九吉米)方向搜索  
 ノ目的ヲ以テ魏子窩ヲ殺シ六月二日午前七時三十分四平街ニ在  
 リシ敵ノ騎兵ヲ擊退シ該地ヲ占領ス會々清國人未テ我軍  
 ノ負傷兵アルヲ訃テ依テ清人ニ尾シ行クコト西方約二吉米木子家屯  
 ニ至リ道守カレテ一支那家ニ入ル室上ヲ見テ血ニ塗タル襯衣ヲ纏ミ柔  
 息方絶ハシトス一兵士アリ我軍醫ノ至ルヲ見テ重傷ヲ忍ビ救ヲ護  
 ラ絶叫セリ此慘憺タル情況ノ下ニ軍醫ハ救急法ヲ施セリ然レモ  
 敵ノ騎兵再ニ進来スルノ模様アリシヲ以テ此重傷タル患者ヲ再  
 々残酷ナル露軍ニ依頼スルニ忍ビス直ニ之ヲ魏子窩ニ運搬セ  
 シム此不幸ナル負傷者ハ騎兵〇〇聯隊預備陸軍騎兵  
 一等卒岸野某ニシテ其自ラ遭遇シタル慘憺タル情況ヲ述ルル左如  
 岸野ハ六月一日曲象店(得利寺南方約七吉米)ヨリ四平街方向  
 派遣セラレタル將校弁候ニ屬シ同日午後三時頃四平街ニ進入シ

人敵騎兵ハ俄ニ四平街ニ現レ猛烈ニ射撃ヲセリ將校亦候  
 ハ半輪退却セシム岸野ハ不幸ニシテ敵彈高ニ右上的ヲ貫  
 通セテシテ落馬セリ將校亦候ハ百方之カ収容ニ努メタリト雖モ敵  
 追撃益々急ニシテ其目的ヲ達セム曲家后方向退却セリ岸野  
 ハ斯ノ如キ情況ノ下ニ遂ニ敵ニ捕ハレ露兵其眼ヲ閉ケルヲ見ルヤ  
 此重傷者對シ魚鱗ニモ拳銃ニ發シ其胸部ニ發射セリ不幸中  
 幸福ニカキ其二彈一ハ絨衣ニ射テ貫通シ他一彈ハ右肋ヲ  
 轉シテ胸右側面ニ至リ内臓ニ達セカラン岸野ハ抵枕ノ餘カナク遂ニ  
 眼ヲ鎖セリ露兵以テ死セリトナシ其被服ヲ剥脱シ清人ノ命ニ之ヲ出サ  
 埋ムシム清人ハ穴ヲ穿テ岸野ヲ其内容ヲ樹枝ヲ以テ之ヲ覆ヘリ露兵ハ之  
 ヲ見テ悉ク北方ニ退却セリ露兵去ル後清國人ハ之ヲ埋ルニ忍ビ大樹  
 枝ヲ去リテ之ヲ李家屯ニ運ヒ水ヲ共ハシ或ハ卵ヲ共ニテ之ヲ分テセリ  
 之ハ爲メ岸野ハ稍元氣ヲ恢復シタルモ重傷ノ地ハ自殺セントシ

清国人ト筆談シテ刀ヲ借ラントス清国人ハ其意ヲ察シ之ヲ  
止メテ之ヲ慰撫シ一方侯ヲ曲家店ニ送り我軍隊ニ通知セシ  
ヲ以テ此不幸ナル重傷者ヲ収容スルヲ待タリ

0115

一 六月二十六日某騎兵中隊ニ沿鉄山(熊岳城東北約九吉米)赤麓  
諸道路ノ偵察中一下士斥候(四騎)ヲ双台子(沿鉄山東方約  
三吉米)ニ派遣ス此下士斥候ハ午前十時双台子ノ西南方ニ至リ双  
台子ノ西方ニ在リシ敵騎三騎ヲ驅逐シ更ニ前進セントスルヤ敵ノ  
騎兵約二十騎ハ双台子方向ヨリ下士斥候ノ側面ニ迫リ退却セシ  
三騎モ亦半輪前進シ未ル下士斥候ハ退却スルニ方リ斥候長  
及兵卒一名ハ敵彈ノ為ニ負傷シ陸軍騎兵一隊奪空井某  
ハ其策馬ヲ斃サレ徒歩ニテ斥候ニ追及セントス斥候亦其収容  
ニ努メタルモ能ハス空井ハ遂ニ敵彈ノ為ニ斃レ斥候ハ退却シ  
中隊ニ合セリ其後中隊ハ空井ノ斃レタル位置ニ至リシモ其死体ヲ  
認メスレタ歸還セリ六月三十日ニ至リ下士斥候ヲ派遣レ空井ノ  
死体ヲ搜索セシメ漸ク之ヲ発見セリ此下士斥候ノ自撃手セシ  
情況ト五人ノ言トニ依レハ二十六日空井ハ負傷ノ後敵ノ爲ニ捕

ラレ 鎗ヲ以テ三夕ニ其物部ヲ貫通セラル且敵ハ其死体ヲ調  
査シタル後之ヲ路傍ニ放棄セリ

0117

一 得利寺附近ノ戦闘ノ際山嶺北方高地脚ニ於テ我中立臂  
章ヲ附セル兵卒即々看護手ハ其近傍ニ露兵ノ負傷セル  
モ、横卧シアルヲ發見セラテ之ヲ救助セン為メ近接シタルニ  
彼ハ理不尽ニモ突然携ヘアリシ小銃ヲ以テ射撃シ為メ  
負傷セリ會々我歩兵ニ名未リ救フニ會シ幸々彼ノ暴収ヲ  
恣ニスルヲ得カラシメタリ

一 得利寺附近ノ戦闘ニ於テ戰場掃除隊敵ノ死傷者ヲ收容  
セシ為メ近接セントスルニ其生存者ノ若干ハ我ニ向ヒ敢テ射撃ヲ  
ナシ及林ノ収アルニヨリ容易ニ近接スル能ハカリシトハ各方  
面ニ於テ聞キレ所ナリ

一 六月十三日 得利寺附近ノ敵ヲ攻撃スル為メ前進中午前  
十時三十分胡家屯(普蘭店東北方約十七公里)北方高  
地ニ至リシトキ敵ノ騎兵三四中隊ハ胡家屯北方約千五百



米、地、矣、達、漸、次、我、向、ヒ、前、進、シ、来、レ、リ、又、敵、ノ、將、校、斥、  
候、三、騎、ハ、我、ノ、胡、家、屯、北、方、高、地、ニ、在、ル、コ、ト、ヲ、知、ラ、カ、ル、モ、ノ、  
ノ、如、ク、我、ニ、近、接、シ、来、レ、リ、依、テ、之、ヲ、狙、撃、シ、其、將、校、ノ、踵、ヲ、  
貫、通、シ、タ、ル、為、メ、談、將、校、ハ、落、馬、セ、リ、前、進、中、ノ、敵、ハ、此、情、  
況、ヲ、見、テ、之、ヲ、収、容、セ、ン、カ、為、メ、烈、ニ、キ、射、撃、ヲ、ナ、セ、リ、負、傷、セ、ル、將、  
校、ハ、帽、ヲ、上、テ、哀、ラ、ク、乞、ヘ、リ、此、ニ、於、テ、聯、隊、ハ、敵、彈、ヲ、肩、シ、此、負、  
傷、將、校、及、其、徒、卒、(負、傷、將、校、ノ、乘、馬、ハ、逸、走、セ、リ)ヲ、収、容、  
シ、敵、彈、ヲ、遮、蔽、ス、ル、ニ、至、リ、速、ニ、救、急、法、ヲ、施、シ、負、傷、將、校、  
馬、ヲ、曳、ハ、之、ヲ、後、方、ニ、送、致、セ、リ、

0119